令和８年度　　八幡商業高等学校　学校評価

本年度の重点目標

・「三方よし」の精神を持ったたくましい産業人の育成を目指し、本校教育活動の三本柱「新しい商業教育の構築」「部活動の活性化」「国際理解教育」を推進し、２１世紀社会に求められる人材育成に努める。
・生徒一人ひとりの自己実現を支援し、充実した学校生活が送れるように支援する。

領　域	重　点　評　価　項　目	中間評価(10月)	総合評価（３月）	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1　学校経営	教職員が学校経営方針を理解し、それぞれが魅力ある学校づくりに向けて参画している。	A		
	様々な教育活動を通して「本校に在籍してよかった」と思える学校となるよう努めている。	A		
2　学習指導	学習の基礎基本の確実な定着のために、個に応じたきめ細かな指導を行っている。	A		
	わかる授業・深く考えさせる授業に向けて授業改善や計画的な授業の展開を行っている。	A		
3　生徒指導	礼儀正しい言葉遣いと爽やかな挨拶が身につけられるようにしている。	A		
	身だしなみを整え、基本的生活習慣が確立した生徒の育成を行っている。	A		
	いじめの未然防止と早期発見に努め、いじめのない学校づくりに取り組んでいる。	B		
4　進路指導	希望進路に応じて、必要な学力を身につけさせるとともに、各種資格取得に向け指導を行っている。	A		
	生徒の進路希望実現のために、１年次より系統的な進路指導・ガイダンスを行っている。	A		
	クラウドサービスを有効に活用し、学年に応じた進路情報を提供するとともに、適切なアドバイスを行っている。	B		
5　特別活動等	部活動により、人間性の形成に資するように努め、学校活性化につなげている。	A		
	生徒会活動により、生徒が自主的に計画や運営ができるようにしている。	A		
6　学校図書館	学校は、必要な図書を整備した居心地の良い図書館づくりに取り組み、図書館だよりや読書の時間等で、読書への興味が高まるよう努めている。	A		
7　保健・安全指導	生徒の健康管理、病気予防に努め、一人ひとりが健全な生活が送れるよう指導・援助している。	A		
	課題を抱える生徒の早期発見に努め、職員間での情報共有と組織的な対応を行っている。	A		
8　人権教育	全ての教育活動において人権尊重の視点に立った教育を推進している。	A		
	人権教育を推進するために、１年を通じて指導の計画を立て、人権意識の高揚を図っている。	A		
9　環境教育	毎日の清掃を徹底させ、学校環境を清潔にするとともに、環境問題への意識づけをしている。	A		
	ごみの減量や分別、節電や節水等に取り組み、ＳＤＧｓの環境課題の解決に向けて、意識の向上に努めている。	B		
10　事務・管理	施設・設備面での安全管理を充分に行っている。	A		
11　その他 学校の取組	地域や地元企業、大学との連携を推進し、ＳＰＨ事業の成果を生かして、特色ある教育活動に取り組み、商業高校としての専門教育の充実・発展と進路意識の向上を図っている。	A		
	長期留学や短期海外研修、海外修学旅行(姉妹校交流)等の国際交流事業の充実を図るとともに、様々な教育活動において国際理解教育を推進している。	A		
	課題研究・総合実践などの教育活動を通して、自ら考え発信できる人材・起業家養成を行っている。	A		

（注）・評価表の見方：　６月　学校の教育目標に基づいた重点評価項目の公表
１０月　中間評価（自己評価）の公表（８月までの教育活動に対する中間評価）ＡＢＣＤの４段階評価で示す。
３月　総合評価（自己評価・学校関係者評価）の公表（年間の教育活動に対する総合評価）ＡＢＣＤの４段階で示す。
・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。
・ＡＢＣＤの基準については、評価項目の内容が、十分に達成できた場合（達成度80%以上）はＡ、おおむね達成できた場合（達成度60%以上80%まで）はＢ、あまり達成できていない場合（達成度40%以上60%まで）はＣ、達成できていない場合（達成度40%未満）はＤとする。

学校のＵＲＬ：　https://www.hassho-ch.ed.jp